

人は**資本** 人が**基本**

積水工業株式会社さま

東京都目黒区



「素直で前向き、勉強好きな人を積極的に採用したい」と語る金子信次郎代表取締役



創業者 金子 康 氏
代表取締役 金子 信次郎 氏(42)
創立 昭和40年(設立42年)
主要業務 メンテナンス・サービス工事全般(エアコンの修理・交換など)、各種リフォーム工事の提案・施工、空調・換気設備・給排水衛生設備・消防設備・電気設備などの設計・施工
従業員数 70名
組織構成 総務4名、営業5名、設計積算3名、リニューアル15名、サービス11名、電気工事5名、工事部13名、品質安全管理3名、他
年間売上高 約31億円
営業エリア ・本社:関東近郊
・仙台支店:東北エリア全域
主要顧客業種 工場・倉庫、事務所、官公庁物件、病院・老健、学校、一般住宅
管理会社、一般管理組合

お客さまの幸せを考える 人材の確保と 教育こそ会社づくりの基本

技術のある従業員の育成が急務

不安定な足取りの続く経済状況にあって、29年連続黒字、無借金経営を達成している積水工業さま。空調換気設備や給排水衛生設備の工事をはじめとする従来の事業に加え、近年では太陽光発電やマンションの改修まで手掛けるなど業容の拡大が続いている。

「好調さを維持する理由は、現場に近いところで多種多様な専門性を追求しているから。そして、期待に応える我々の技術があると自負しています。当社にとっての技術は、すなわち人。良い人材を確保し続けることが企業の成長につながるのです」

金子信次郎社長は、自社躍進の鍵は人材にあると明言する。

創業者・金子康氏の次男で3代目。38歳で就任し、現在は4期目に当たる。金子社長によると、昨今は事業の拡張に加え、仕事の受け方も変化しているとか。次第に元請けの比率が高くなり、一定の資格がないと受注が困難な業務が増大。なかでも1級管工事施工管理技士、宅建、管理業務主任、マンション管理士などはニーズが高く、また福祉住環境コーディネーターなど、“現場で役に立つ”資格も増えていく一方だと話す。

「資格は社員が年齢とともにスキルアップし、専門性を発揮するためにも不可欠。そして資格取得に向けての教育は、専門の教育機関における研修を受講ができればベストです。しかし、我々のような規模の企業が単独で集合研修を行うのは非常に困難です。そこで私は、小規模の同業者、商社、取引先などの従業員を集めて設備工事技術の基礎を学ばせる合同研修を発表し、各社に呼びかけたのです。同じような悩みを持つ経営者が多かったのか、たちまち約20名の参加者を確保できましたよ」

企業連合の連携による集合研修を考案

研修内容を協同で企画したのは、東京都北区にあり、百年以上の歴史を持つ「中央工学校」。積水工業さまが卒業生を継続採用している技術系の専門学校だ。

機械の知識がない新入社員に対しては、資格取得レベルの知識はおろか、基礎を教えるだけでもOJTではか



社員の皆さんのキビキビした動きが印象的



企業理念



他社の参加者との「同期の桜」意識が向上意欲を高める



中央工学校主催の研修会における技術工事実習

りの困難を要する。現場での実践教育も重要だが、客先の現場でいきなり、というのはハードルが高すぎるのだ。また、その場その場で指導するよりも、教育機関で体系的に学ぶ方がしっかり身につく。「中央工学校では既に建設系企業の社員教育の一環としての工事实技研修の実績があり、また学校側にも民間企業との継続的な友好関係を築くという主旨をご理解いただき、新入社員・若手社員対象の建築設備系工事技術研修会として独自のコースを策定してくれました」

結局、2週間(合宿研修)コースで1人約30万円での実施が決定。積水工業さまは4名を参加させた。同社にとって、この金額は決して安いものとは言えないが、金子社長は「それだけの価値はある」と強調された。こうした集合研修が単に資格や技術の習得にとどまらず、同じ釜の飯を食った“同期の桜”としての連帯感を生むからだ。

中小規模の企業では、社内に同期入社の者が少なく、一人きりというケースも稀ではない。ところが、こうした共通体験を経て気軽に話ができる仲間ができれば、その後、それぞれの持ち場で黙々と業務に取り組もうとも、前向きに取り組めるという判断が金子社長にある。

お客さまの幸せは従業員の幸せから

複数の企業から参加者を募って、集合研修に対応できる人数を確保し、教育機関と相互に利益を得られるシステムを構築する。なんともユニークで、かつ効果的なアイデアと言える。その発想の根底にあるのは「社員の幸せ」

づくりだ。

「社員一人ひとりが自らの基盤を確立し、良い仕事を成し遂げることで幸せな生活を手に入れる。そんな社員の幸せこそが“お客様の幸せ”に通じ、それがさらに社員の幸せを生むと考えている」

積水工業さまでは1年前から、マンションなどの設備(エアコンや給湯器など)に対して365日24時間の自社サービスを実施している。迅速かつ的確なサービスはお客様の満足度を高め、マンションの管理組合からの元請受注にもつながって成果を挙げている。

人との関わりを大切にしている金子社長の思いは、着実に社員に浸透しており、社屋周辺の清掃活動という取り組みにも表れている。

「社員が自主的に取り組んでくれていることが嬉しいですね。企業活動としてアピールしているわけではないので、始めて1年半にして、ようやく近所の方が『あれは積水工業の社員のようなだ』と気づいてくれたみたいです」と目を細める。

目標とする会社像について何うと、即座に答えが返ってきた。

「社員が自ら夢を語り、自分の子どもや知り合いを入社させたいと思う会社になりたい。そうでなければ、私の目指す“百年継続企業”は実現できない」

金子社長の人材育成は、こうした理想に基づく会社づくりに直結しているのだ。